

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	教育課程編成論		
英文授業科目名	Curriculum Development		
開講年度	2008年度	開講年次	1年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間・夜間主コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	教職科目-教育課程及び指導法に関する科目-		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	星野 敦子		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
hoshinoa@jumonji-u.ac.jp	http://www.jumonji-u.ac.jp/sscs/hoshinoa/index.html

【主題および達成目標】
<p>(a) 主題：教育課程編成に関する基礎知識と方法を学ぶ。教育課程の種類や構成要素，代表的なカリキュラム等について，歴史的経緯を含めて学習するとともに，学習指導要領の変遷と特徴、諸外国のカリキュラム改革の概要についての知識を深める。</p> <p>(b) 達成目標：1．教育課程の種類・構成要素・編成方法を理解する 2．教育課程の史的展開と代表的なカリキュラムの特徴を理解する 3．学習指導要領の歴史的変遷と現行指導要領の特徴について理解する 4．諸外国のカリキュラム改革の動向について理解する</p>

【前もって履修しておくべき科目】
特になし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特になし

【教科書等】
特にありません。授業の際に、資料プリントを配布するとともに、事前にホームページにおいて授業ノートを公開します。

電気通信大学 平成20年度シラバス

【授業内容とその進め方】

(a) 授業内容：①教育課程の基本概念 ②A教育方法の種類 ③Bカリキュラムの構成
④Cカリキュラムの史的展開〔コメニウス、ルソー、ペスタロッチ、ヘルバルト、児童中心主義、学問性中心主義、教育の人間化、他〕 ⑤Dカリキュラム開発の方法 ⑥E近代におけるさまざまなカリキュラム
⑦Fカリキュラムの種類 ⑧G授業形態と教授法 ⑨H近代日本におけるカリキュラム ⑩I学習指導要領の変遷と特徴 ⑪J諸外国におけるカリキュラム改革の動向

(b) 授業の進め方：

- ・プレゼンテーションを利用して進めます。授業資料は授業の際に配布しますが、事前にホームページでも公開しています。
- ・毎回授業のポイントをまとめるための課題プリントを作成していただきます。プリントの提出により出欠を管理します。
- ・質問、ご意見等はプリント提出の際に欄外に記述してください。メールによる質問も受け付けます。

(c) 授業時間外の学習：特になし

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 成績評価方法：出席点（課題プリントの提出）と試験の点数を合わせて評価点とする。
比重は試験70%、出席30%

(b) 評価基準：出席と試験を合わせた総合得点で評価。

90%以上：秀 80%以上：優 70%以上：良 60%以上：可 60%未満：不可

【オフィスアワー：授業相談】

メールにて対応します

【学生へのメッセージ】

教員採用試験（教職教養）に役立つ授業を目指します

【その他】